



全体練習初日、陣地を仕切る応援団長から「準備できました！」という声。応援団や係が指示を出し素早く整列が完了しての団長の声だったのでした。

運動会を 成長のチャンスにするには!?

運動会の週になりました。コロナ禍での運動会も3回目になりましたが、ずっと、「子ども達の成長のための活動」を行いたいと考えてきました。

「応援」の取り組みを行なっています。練習の予定がなかった16日(月)も練習をしました。応援団だけでなく全校に協力してもらってみんなが集まりました。



5/11(水) 1回目の応援練習。
赤白が体育館と中庭に分かれて練習。



5/16(月)。予定された2回の練習を終え、「もう1回練習したい」と昼休みに練習。どちらも校庭で行ったので本番のような真剣さでした。「遅刻だー!」と走って集まる1年生も張り切っていました。



簡単にはうまくいかない種目に挑戦しています。うまくするには、時間を見つけて自分達で練習しなければなりません。チーム編成も、自分の希望だけでなく、全体のことを考えて決めなければなりません。

さらには、ダンスやソーランなどでは、一人一人が気を抜かず役割を果たして集団演技の完成を目指します。

高学年は、3人~4人のチームで縄跳びをします。2人で回しそれを1人(または2人)で跳びます。昨年の高学年の競技にも一部のチームが挑戦しましたが、今回は、全チームが縄跳びに挑戦します。

このように運動会は、運動の力を競う場であるうえに、「友達や組の中で団結・協力してやり遂げる大きな機会」でもあると考えます。そのことが子ども達の成長につながると考えています。

6年生が行進を教える

6年生が1年生に行進の仕方を教えていました。開会式では入場行進を行います。6年生が、どこまで自分達でできるだろうかと、1年生に教えてくれました。一緒に歩いて手本を見せたり、「腕をもっと振って」と声をかけたり。1時間の練習の中でですが、「間をつめよう」などと新しく教えることができたりして教え方も上手になり、それにつれて1年生の歩き方も上手になっていくのでした。



※入場後は、「回れ右」の仕方もマンツーマンで教えていました

手伝います！

16日（月）の朝、七十刈先生が校庭の倉庫から子ども達が陣地で座る椅子を出しておられました。休み時間にでも高学年の子に頼んで並べてもらおうかと思っていたということでした。そこへ、近くで遊んでいた**6年生の啓さん**が「**手伝います**」と椅子を運び始めました。一緒に遊んでいた**湊太さん、瑛太さん**も。そこへ、遊びにやってきたと思われる**5年生の流生さん**もまっすぐ椅子のところに向かって行って運び始めました。

最後は校庭で遊んでいた子達がみんな手伝ってくれて、椅子は朝のうちに全部運び終わったのでした。

誰かが何かをやっていたら「ほっておくわけにはいかない。」「自分の出番かな。」そんな気持ちで働いてくれたのでしょう。分担していたのでもなく、あらかじめ頼んでいたことでもなく、こうして働いてくれることがうれしいです。



手伝ってくれる子がどんどん増えていきました。



いいなあと思うこと・・・

運動会なのに普段通りの生活 ～しーんと朝読書・1年生～

運動会に向かっていますが、普段通りの生活もできていると感じています。

この前、1年生の教室の前を通りかかったら、「しーん」と静まりかえって朝読書をしていました。同じ日、または1年生。聴力検査を受けるために廊下で待っているところでしたが、気に入った本を持ってきて読んでいました。運動会で忙しく動き回る時期ですが、じーっと本に向かっている姿も微笑ましいのでした。



登校風景



運動会の練習で疲れることもあるでしょうが、子ども達は元気に登校してきます。「うちのまわりにはいろいろな花がさいています。」と見せてくれました。「虫かごをもってきました。でもまだ、葉っぱしか入っていないけど・・・。」「え、葉っぱしかはいていない？」そんな朝の楽しい会話を子ども達からもらっています。

休み時間のリレー練習

リレー練習が休み時間に行なわれました。練習している子も偉いのですが、周りで遊んでいる子も立派だと感じました。サッカーをしている子、鬼ごっこ、くつ飛ばし、・・・。たくさんの子が遊んでいても、リレーをしているトラックの方にボールが飛んでいかないように気を遣っています。「わーすごい」と選手達を見ている子もいます。同じ校庭で、いろいろなことをしている子がいる風景が、当たり前かもしれませんが、「いいなあ」と思うのでした。

